反

三年

画数 4

筆順 一 厂 厂 反

オン ハン・ホン・タン

クン そ＝る＝らす

成り立ち

がけの形をあらわした〝厂〟と、手の形をあらわした〝又〟とを組み合わせて作った字です。

がけは〝かたむいて〟います。その〝かたむく〟いみをとって、「手を〝かたむける〟」ことをあらわした字です。「手のひらを〝かえす〟」ことです。それは〝反対する〟ことをいみします。

また、〝反対になる〟といういみから〝そりかえる〟といういみにもつかわれるようになり、〝そる〟〝そらす〟というつかいかたが生まれました。

〔ハンは漢音、ホンは呉音。タンは慣用音と言われているが、わが国で作った言葉の特有の読み方なので、むしろ訓と言うべきものであろう。〕

使い方

▽ぼくは、春休みに、東京ディズニーランドに行きたかったのですが、おとうさんが反対したので、行けませんでした。

▽せすじを反らすと、しせいがよくなります。せなかをまるめるのは、けんこうによくありません。

熟語例

▽反対（あるいけんに、さからうこと。また、あべこべのこと。「道をはさんだ反対がわには、空地がありました」などというふうに、つかいます。）

▽反抗（さからうこと。「子どもには、親に反抗したくなる時があります」などというふうに、つかいます。）

▽反感（反抗するきもち。「あの人は、わたしに反感をもっているらしい」などというふうに、つかいます。）

▽反射（光などが、ものにぶつかって、はねかえること。「まどに、日の光が反射して、まぶしい」などというふうに、つかいます。）

▽反物（一反ずつになっているおり物。きものの生地のことをいいます。）

坂

三年

画数 7

筆順 土 土 圷 圷 坂 坂

オン ハン

クン さか

成り立ち

「手のひらを〝かたむける〟」といういみをあらわした〝反〟と〝土〟とを組み合わせて作った字です。

「〝かたむいた〟土地」のことをあらわした字です。〝さか〟といいます。

〔崖の意味を表した〝阝〟と〝反〟との会意・形声字の〝阪〟が〝さか〟の本字であり、〝坂〟はその俗字である。わが国では〝大阪〟の地名に本字の〝阪〟が用いられているくらいで、〝さか〟といえば〝坂〟が本字と思われるほどになっている。〕

使い方

▽坂の上からボールをころがすと、ボールは一気にころがりおちました。

▽わたしのいえの近くに「おばけ坂」という名前の坂があります。木々がうっそうとしげって、昼間でもうすぐらく、本当におばけが出そうな坂です。

熟語例

▽坂道（坂になっている道。「ゆるやかな坂道を下って行くと、小川に出る」などというふうに、つかいます。）

▽坂路（坂道のこと。）

▽急坂（かたむきが急な坂。文章では〝キュウハン〟と読むこともあります。）